



柴田町立船迫中学校

学校だより 第17号

平成30年12月21日

文責 教頭

そっ たく  
啐 啄

啐は殻の中で雛が突つく音  
啄は母鶏が殻を噛み破ること。  
またと得難い良い時期を意味する。

## 充実の2学期を代表生徒の言葉で振り返ります！

2学期も迫中生は様々な面で活躍し、学び、成長してきました。今回の学校だよりでは、本日の終業式で所感発表した各学年と生徒会役員代表の言葉（抜粋）で、2学期を振り返ります。

2学期を振り返り、大切だと思ったことがありました。それは「経験」です。私は前期で放送委員。後期は学級委員となりました。学級委員になった時は、とても不安でした。もともとみんなをまとめたり、中心となるのは苦手で、今でも自信がなかったり納得できなかったりするときがあります。ですが、学級委員になってから、少しずつ苦手意識がなくなってきました。

このように、実際に経験することがとても大切だと分かったので、これからも頑張ります。

1年生代表 大沼 ひかり

私は、2学期を振り返って、強く心に残った気持ちがあります。それは「悔しさ」です。

例えば新人大会。私は今年こそベスト4に入り、県大会に行こうと、苦手なレシーブや前衛のストップを練習しました。しかし、結果はベスト8止まり。今思えば、前の試合でスタミナを使い果たして、思うようにプレーできませんでした。

迫中祭の学級旗でも最優秀賞が取れずに悔しかったです。だから、これらの悔しさをバネにして、これから様々なことを頑張ります。

この2学期は、一番長い学期であり、迫中祭や合唱コンクールがありました。私たちにとって、これらすべてに「最後の」という言葉がついてきました。そして、その「最後」にふさわしい結果と大切な思い出が、私たちの胸に残りました。

そして、「受験」という大きな壁が目の前に迫ってきているので、冬休みは学習に力を入れることはもちろん、体調管理も重要だと考えます。

そして、残り少ない中学校生活を楽しむため規則正しい生活を送り、3学期を迎えたいです。

私たちが前期から行っているあいさつ運動。これは生徒会全体で行い、生徒の皆さんや地域の方とふれ合う、大事な活動だと思っています。これを学校内だけではなく、地域にも広げ、より積極的に行っていきたいと思っています。

最後に、私はこれまで生徒会執行部の先輩方が責任をもって取り組んだ姿から、様々なことを学んできました。私もそのような行動がとれるように、日々意識して生徒会活動に取り組みたいと思います。

生徒会役員代表 2年 大野 達也

### 1月～2月初旬の行事予定

- 1日～3日 学校閉庁期間
- 4日(金) 御用始め
- 7日(月) 3年実力テスト(弁当持参)
- 8日(火) 第3学期始業式 午前授業 給食なし
- 9日(水) 1・2年実力テスト
- 11日(金) PTA役員選考委員会
- 14日(月) 成人の日
- 15日(火) 2年社会ボランティア講師授業
- 16日(水) 私立高校推薦入試 放課後英語楽交各種委員会

\*1月の部活動 16:45 終了 17:00 完全下校  
部活動なし・・・8日・9日・15日・17日  
21日・24日・28日

- 17日(木) 職員会議 岩沼支援・角田支援入試
- 18日(金) 中央委員会
- 21日(月) 生徒集会(放送)
- 23日(水) 学校保健委員会
- 29日(火) 小中連携授業(船迫小6年生来校)
- 31日(木) 公立高校前期選抜入試 3年給食なし
- 2月4日(月) 私立高校A日程入試 3年給食なし  
1・2年キャリアセミナー
- 6日(水) 私立高校B日程入試 3年給食なし

# PTA臨時総会で可決された、新PTA会則をお知らせします！

12月8日（土）に行なわれたPTA臨時総会で、「PTA役員選出を、従来の各地区で行なう方法から、各学年・学級単位で行なうように変更する」に関する以下の案が、賛成多数で可決されました。また、前回の学校だよりでお知らせした提案事項も承認されました。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## \* PTA会則変更案（ → の後が変更された会則）

### PTA会則

第10条 2	(旧) 学年委員は、 <u>各学級の父母等から3名ずつ選出し</u> 、各学年委員会ごとに、学年委員の互選により学年委員長を選出する。 (変更後) → 学年委員は、 <u>各学年の父母等から4名選出し</u> 、各学年委員会ごとに、学年委員の互選により学年委員長を選出する。
第10条 3	(旧) 各専門部の委員は、 <u>各地区それぞれ1名を選出し</u> 、教職員から選出された若干名の委員を含め、各専門部委員会ごとに、委員の互選により、専門部委員長を選出する。 (変更後) → 各専門部の委員は、 <u>各学年からそれぞれ2名を選出し</u> 、各専門委員会ごとに、委員の互選により専門委員長を選出する。

## \* 投票結果

世帯数 169件	委任状提出数 74名	出席者 73名
賛成 65名 (89.0%)	反対 3名 (4.1%)	棄権 5名 (6.9%)

# 部活動に関する小学5・6年生へのアンケート結果と今後の方針をお知らせします！

今後の部活動について、活動が人数的に厳しくなってきた部活動が出てきたため、今後の動向を把握するために船迫小学校5・6年生にアンケートを取りました。その結果、小学6年生が第1希望どおりに入部すれば、来年度は新人大会までどの部も人数が足りる可能性が見られます。そこで、以下の方針を立てました。

## 1 アンケート結果（上段6年生・下段5年生）

部活動名	第1希望	第2希望	第3希望	部活動名	第1希望	第2希望	第3希望
野球部 (男女)	4 2	1 2	2 2	吹奏楽部 (男女)	8 5	5 8	6 4
サッカー部 (男女)	12 1	2 2	0 2	ソフトボール部 (女子のみ)	3 0	2 1	0 0
バスケットボール部 (男子のみ)	0 8	1 8	1 2	バレーボール部 (女子のみ)	6 3	1 2	0 1
卓球部 (男子のみ)	10 6	3 4	1 1	ソフトテニス部 (女子のみ)	4 2	2 3	2 5
剣道部 (男女)	3 5	5 3	0 1	バドミントン部 (女子のみ)	11 14	2 1	2 3

## 2 船迫中学校部活動数についての基本方針



- ・今後、顧問ができる教師数や活動場所を考え、新たな部活動の設置は行わない。
- ・今後、生徒数増が大きい学年があることを見越して、できるだけ現在ある全ての部を存続させる方向で考えることとする。
- ・一部の部活動に生徒が偏る（多すぎる）ために十分な活動ができない部活動を減らすため、部活動入部までの情報提供・体験の機会を増やして、人数の平準化を目指す。  
(4月の入部に当たっては部活動体験期間と仮入部期間に分け、体験期間は必ず部活動体験に行き、かつ3つ以上の部を体験させることとする。仮入部期間は、顧問の承認を得ながら他の部の体験・移動ができる期間とする。)
- ・ただし、来年度から、2年連続、新人大会で試合の必要人数に足りない部が出てきた場合は、削減を検討する。